

日本藻類学会第47回大会（北海道） 公開シンポジウム「誰でも学べる藻類学」開催記

玉金 勇樹

藻類学は魅力的な学問ですが、藻類に興味を持った一般の方々が専門家の話に触れる機会は限られています。そのため藻類学会では大会の度に公開シンポジウムを開催し、学会員以外の方に向けて講演を行ってきました。しかし近年ではCOVID-19対策のためのオンライン大会が主流となり、未発表データや著作権の取り扱いに気をつけねばならず、公開シンポジウムも開催できておりませんでした。そのような状況でしたがオンラインならではの公開シンポジウムを開催したいという、仲田大会実行委員長の依頼があり、webを通じた公開シンポジウム「誰でも学べる藻類学」を玉金と仲田大会実行委員長で企画・遂行することとなりました。

「誰でも学べる藻類学」は、講演を誰でもどこでも視聴でき、更に教材として利用できるように保存することを目的としました。そのため、多様な研究材料を扱う3名の研究者の方々に自身のご研究や藻類学の魅力と面白さについて講演をお願いしました。また、これまで、発表済/未発表映像を藻類学会の会員同士で鑑賞し合う「アルガムムービー鑑賞会」を行ってきましたが、「誰でも学べる藻類学」内でこれを開催することで、藻類の振る舞いや採集風景など、藻類学に対する

興味を湧き立てるようなムービーを研究者から提供していただき、誰もが利用できる教材として保存することとしました。

誰でも参加できる公開シンポジウムをwebで開催するのでしたら、その知名度からYouTubeがプラットフォームとして真っ先に挙がります。様々な方に興味を持っていただけるような構成にするため、YouTubeの映像作成にノウハウを持つ方を探しましたところ、ちょうど私が所属していた研究室にYouTuberグループ「ゆるふわ生物学」のロッキー君がおり、とんとん拍子にお話が進みコラボ開催が決まりました。「ゆるふわ生物学」と共に企画を考え、まずは、仲田先生が講義を行う動画「細かい藻を細かく分ける：コナミドリムシと仲間たち」を公開し、藻類学会大会と「ゆるふわ生物学」がコラボする公開シンポジウムを周知いたしました。

「誰でも学べる藻類学」当日は、Zoom会議をYouTubeで配信する形をとりました。その講演は、堀口先生による写真が盛り沢山で実にわかりやすい藻類の基礎講義、山下さんオリジナルの図とムービーが盛り沢山の綺麗なスライドショー、加藤先生のフィールド写真が綺麗で対象の藻類がどのように生きているのか実感できる講義と、実に多様な内容でした。YouTubeで



図. YouTube におけるライブ配信. リアルタイムでコメントや質問が書き込まれている. 仲田実行委員長の回答に視聴者が喜ぶ場面も.

は配信時にリアルタイムでコメントが書き込まれますが、「この上ないほど聞きやすいです」「想像以上に動きが愉快でびっくりした…かわいい…」「YouTube ありがたい……」「えーそんなどころ藻の特性残してるの」等々、新鮮で率直で熱のある反応をいただいています。「ゆるふわ生物学」さんにはこれらコメントへの対応や、コメント内にある質問をまとめていただき、総合討論での司会を進行していただくなど、さまざまな形でシンポジウムを盛り上げていただきました。

「アルガムムービー鑑賞会」では藻類の採集方法や調査方法、藻類の生活環をダンスで表現した作品など、多様な 8 つのムービーを公開しました。なかなか目に触れないような映像が多く、コメントを見るに視聴者の皆さんには楽しんでいただけたようです。生物映像のプロである藤原さんからは自身が作成され著作権をお持ちである、群馬自然史博物館の展示映像を紹介いただきました。本職だけあって流石のクオリティなのですが、既に YouTube で公開されており、同じ動画を公開しても良いものか判断できず、当日の上映は控えました。今回のプログラムに URL を記載していますのでご参照ください。

最後に、北山先生に国立科学博物館を案内していただく 2 つの動画、「地球を変えた生物、藻類の進化を見てみよう!」「研究者が語る日本の海藻」が「ゆるふわ生物学」のチャンネルで公開されました。堀口先生の講義の内容を国立科学博物館で追体験できるような構成となっており、実際に博物館に行きたくなるような内容です。

大会参加者が集まる Zoom 会場では 100 名程度が、YouTube のライブ配信にも 100 から 200 人の視聴者が常にいらっしゃいました。アーカイブ化された映像は 1600 回以上が視聴され、開催から 2 ヶ月がたった現在でも再生され続け、藻類学会の会員のみならず、多くの方々に視聴していただいています。「誰でも学べる藻類学」は多くの皆様のご尽力で開催できました。講演者の皆様は web に公開するために著作権等に配慮しなければならず、困難なスライド作成と公開に挑戦いただきました。更に、スライドへの写真提供を快諾していただいた提供者の方々もいらっしゃいます。「誰でも学べる藻類学」の趣旨に賛同いただいた皆様に感謝申し上げたいと思います。コラボ企画でお世話になりました「ゆるふわ生物学」さんですが、当日の総合討論やコメントでは、くろきんさん、さこっちさん、ロッキーさん、みかみんさんに特にお世話になりました。国立科学博物館を案内いただいた北山先生、特別講義をいただいた仲田先生、また、アルガムムービー鑑賞会に映像を提供いただいた皆様に感謝申し上げたいと思います。

最後に「誰でも学べる藻類学」のプログラムをまとめたいと思います。様々な場面で教材として利用いただければ幸いです。

公開シンポジウム「誰でも学べる藻類学」

(アーカイブ先：<https://www.youtube.com/live/TWrUtFUgLyw>)

- ・土金勇樹 (東京大学)・仲田崇志 (北海道大学)「企画趣旨」
- ・堀口健雄 (北海道大学)

「藻類～その驚きの多様性、そして彼らの進化について」

- ・山下翔大 (国立遺伝学研究所)
「単細胞生物から多細胞生物への進化を“群体性”緑藻で解き明かしたい!」
- ・加藤亜記 (広島大学)
「サンゴのような藻『サンゴモ』一石になる海藻の多様性」
- ・総合討論 司会：ゆるふわ生物学

- ・第 3 回アルガムムービー鑑賞会 紹介:土金勇樹 (東京大学) 作品リスト

1. 高橋昂平 (東京大学)「*Pleodorina starrü* の遊泳」
2. 自然科学部ミカツキモ班 (宮城県仙台第三高等学校)
「ミカツキモ班紹介動画」
(<https://youtu.be/bNkIJAGMEbQ>)
3. 小林愛美 (千葉県)「ボルボックスとその他の藻類」
(<https://youtu.be/bwnt43VVnGY>)
4. 加藤将 (新潟大学)「シャジクモの採集風景」
(<https://youtu.be/7KGBWRycV-w>)
5. 芹澤如比古 (山梨大学)
「水中ドローンを用いた潜水調査～本栖湖の車軸藻帯～」
(<https://youtu.be/XN84Crap3Gc>)
6. 小松正 (小松研究事務所, 特定非営利活動法人 北海道こんぶ研究会)・紹介:江端弘樹 (福井大学)
「コンブの生活」(<https://youtu.be/6bbeNQHg5l8>)
7. 阿部拓三 (南三陸町)・青木優和 (東北大学)・青木美鈴 (WIJ)・秋田晋吾 (北海道大学)・神谷充伸 (東京海洋大学)・倉島彰 (三重大学)・坂西芳彦 (水産研究・教育機構)・鈴木将太 (南三陸町)・鈴木はるか (東北大学)・太齋彰浩 (デザイン・バル)・田中次郎 (東京海洋大学)「モニタリングサイト 1000・志津川サイト (藻場) 一宮 城三陸町」(<https://youtu.be/6t8nZbedrQs>)
8. 丸川祐佳 (株式会社ユーグレナ)
「ミドリムシ (ユーグレナ)」
(<https://youtu.be/R3oeAMjNTx0>)
おまけ: 藤原英史 (ドキュメンタリーチャンネル)「海藻の森とその増え方」(<https://youtu.be/TYPMP3jZ8M>)

ゆるふわ生物学・藻類学会大会コラボ企画

- ・「地球を変えた生物、藻類の進化を見てみよう!」

(<https://youtu.be/BdF6L3U6G74>)

- ・「研究者が語る日本の海藻」

(<https://youtu.be/PFA3d48HqmE>)

案内:北山太樹 (国立科学博物館)

- ・【研究者に聞いてみた】

「細かい藻を細かく分ける:コナミドリムシと仲間たち」

(<https://www.youtube.com/live/wasrS-0sv6s>)

(東京大学)